

令和4年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 111

千葉県立君津商業高等学校 全日制の課程 商業科・情報処理科

1 期待する生徒像

人物に優れ、本校を志願する動機及び理由が明確で、学業や資格取得に積極的に取り組む意志があり、かつ、次のア又はイの要件を満たす生徒。

ア 高校生活に意欲的に取り組み、学習成績が優秀な生徒。

イ 部活動・特別活動等に優れた実績又は能力・適性を持ち、入学後もそのことを高校生活に生かし、3年間継続して活動する意志のある生徒。

2 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：10分程度
(3) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間50分 評価項目の評価を基にして数値で評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔180点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限4.5点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が10日以上ある場合は、審議の対象とする。 3年間で欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つ、または1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動、資格取得、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔90点満点〕

2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（極めて優れている）・b1（優れている）・b2（標準的である）・b3（やや標準に足りない）・c（大きく標準に足りない）の5段階で評価する。各評価項目については、aを15点、b1を12点、b2を8点、b3を4点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各45点満点）を合計し、得点化する。評価cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(ア) 高校生活への抱負	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
(イ) 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
(ウ) 人物についての評価	面接に臨む態度が適切である。 基本的な面接作法が身に付いている。

(3) 作文〔80点満点〕

2名の評価者が、2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（極めて優れている）・b1（優れている）・b2（標準的である）・b3（やや標準に足りない）・c（大きく標準に足りない）の5段階で評価する。各評価項目については、aを20点、b1を15点、b2を10点、b3を5点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各40点満点）を合計し、得点化する。評価cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(7) 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。 原稿用紙の正しい使い方をしている。
(4) 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がなく、文法を正しく用いている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の得点	作文の得点	総得点
評定 (K=1)	加点			
135点	45点	90点	80点	350点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。